

## 排出事業者との意見交換会の結果

第10次千葉県廃棄物処理計画策定の参考とするため、令和2年11月に廃棄物の排出事業者と意見交換会を実施しました。

排出事業者からの主な意見等の概要は以下のとおりです。（意見交換会後の意見を含む。）

### 1. 食品ロスについて

- ・食品ロスに繋がる販売不適品の低減のため、賞味期限について、流通、小売り、消費者にその考え方を理解してもらいたい。
- ・醤油油をボイラー燃料として使用し、CO<sub>2</sub>削減に配慮しているが、食品リサイクルという面では評価されないので、副産物をどう活用するかが難しい。
- ・賞味期限を月単位に変更する等の取組をしている。

### 2. リサイクルの推進について

- ・廃棄物の処理コストの面・技術の面で、処理業者の選定が難しい。
- ・リサイクルが進まない品目がある。（耐火レンガ、めっきスラッジ、汚泥、運搬用パレット、緩衝材のプラスチックなど。）
- ・プラスチック容器包装廃棄物の再資源化処理の際、ライターやリチウムイオン電池が混入しており、火災の原因となっている。
- ・鉄鋼スラグ製品などの有効利用が可能な再資源化物については、公共事業等での活用を検討してほしい。

### 3. PCBについて

- ・高濃度 PCB 廃棄物の期限内処理に向け、国や JESCO に対して処理の促進を強く働きかけていただきたい。
- ・低濃度 PCB 廃棄物の量は膨大であり、期限内の処理には困難が予想される。

### 4. 公共関与による最終処分場の設置について

- ・県内中小企業向け最終処分場でもある富津最終処分場の延命対策、あるいは新規最終処分場の設置に向けた計画等の策定を進めていただきたい。

### 5. その他

- ・SDGsの社内教育の必要性を感じている。